



2020年度 NPO 岐腎協 第55回理事会 報告書

1.開催日時 2020年7月26日(日)10時～15時
1 開催場所 OKB ふれあい会館 401号会議室
岐阜市藪田南 5-14-53
2020年度 理事 23名 顧問 1名 出席者 19名 欠席者 5名
進行 高田 裕二 事務局長
会長挨拶 大橋 廣義 会長
議長 谷川 美代司 副会長
議事録署名人 市原 和男 副会長・日下部 芳文 理事

【報告事項】

4月～6月の活動を、各部長と各ブロック長より報告があり、高田事務局長よりNPO岐腎協活動報告がありました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止等の為、活動中止がほとんどでした。

【審議事項】

・第1号議案

2020年度4月～6月までの情勢の特徴と事業報告が、高田事務局長より報告がありました。

・第2号議案

2020年度4月～6月までの事業会計報告及び、その他事業に係る会計報告が谷川副会長よりありました。

第1号議案と第2号議案と一括採決にて、賛成多数で承認されました。

・第3号議案

第40回臓器移植普及推進及び腎疾患総合対策署名キャンペーンについて、今年度は、街頭キャンペーン署名活動は県下全会場を賛成多数で中止と決定します。

・第4号議案

2020年度・難病連を通じて県へ要望書内容について、岐阜県健康福祉部 要望書内容について・県会議員（議長・厚生環境委員長・各会派）への要望書の内容について高田事務局長より説明がありました。

一部市原副会長より『かかりつけ医から専門医への重症化する前に紹介状を出せるようお願いをする』内容の要望書をCKD(慢性腎臓病)に追加する。

・その他

NPO岐腎協(岐腎協設立)50周年記念年事業について、大矢顧問、田中副会長より会場・野口五郎の記念講演について報告がありました。

令和2年7月豪雨 九州豪雨災害について・飛騨川氾濫災害について
今年度は、災害積立基金より熊本・長崎・佐賀・鹿児島・福岡・長野 6県へ見舞金を出す。なお、会計年度予算計画で災害見舞基金への積み立てを入れる。

令和2年7月30日

『熊本県腎協より令和2年7月豪雨災害報告がありました』

盛夏の候、貴会におきましては、いよいよご清栄のことと、お慶び申し上げます日頃から大変お世話になっております。

熊本の豪雨も、一段落し、梅雨明けが待たれています。しかしコロナ対応のため、多くの被災者が避難施設に落ち着けず、車中泊や、水害被害を受けた1階を避け、2階での寝泊まりをしながら、自宅の片付けに追われていらっしやいます。皆、高齢者が多く、体力面もあり、ボランティアを待たれていますが、県内のボランティアのみの受け入れのため、人手が不足しているうえ、軽トラック車等の多くが流されて、自宅前に山積みの状態が続いています。一日も早くの国からの支援が待たれています。

令和2年7月17日現在、県南部で昼前にかけて所により時間雨量70ミリ前後の雨が断続的に続いています。人吉市中心部の最高水位は、65年水害時の5.05mを2m以上超える7.25m。24時間雨量は2.53倍。

住家被害は、全壊555棟、半壊37棟、床上浸水5525棟。一部損壊94棟・床下浸水2045棟。避難者は2032人。停電280戸、断水687戸。孤立集落が6か所。一部集落は存続の危機。小国町・山鹿市・難関町などにも被害が続出した。九州新幹線・九州自動車道は復旧。人吉地区は各地で土砂崩れなどにより19路線が通行止め。電話やネットの完全復旧は見通しが立たず。全金融機関は休止。

県内死者65人【人吉市20名・球磨村25名・芦北町11名・津奈木町3名・八代市4名・山鹿市2名】ほか行方不明2名。※死因の8割が水死。
死者の85%が65歳以上の高齢者。

透析関連

透析不可…2施設「人吉中央温泉病院・七浦てらさきクリニック」
人吉中央温泉病院の患者さんは、系列病院の熊本市内の朝日野総合病院へ
七浦てらさきクリニックの患者さんは、系列の寺崎クリニックへ
(七浦てらさきクリニックは、当分復旧できず。)

坂本町の透析者5人が、孤立し5日ほど透析できず、現在は別々の施設で透析中。

被害状況

人吉中央温泉病院は、一階浸水の為、停電・断水
七浦てらさきクリニックは浸水の為、停電・断水・透析装置など水没
堤病院は、断水（自衛隊の給水にて、3時間臨時透析）
多くの透析患者の家屋が浸水した模様。床下から2回床上まで一部地域では1.2m以上水没

熊本県腎臓病患者連絡協議会
会長 今井政敏